

外国籍選手オンコート1名についての取り決め(ルール適用)

(財) 日本ハンドボール協会審判部

平成19年度より外国籍選手オンコート1名になりますが、下記のように違反時の罰則を取り決めたいと思います。

- ・コート上に既に1名の外国籍選手が出場しており、ベンチにいるもう1人の外国籍選手がコートに入った場合。

→ **2分間の退場**

- ・コートにいた外国籍選手が退場になった場合

→ 全ての退場時間が終了するまで、もう1人の外国籍選手はコートに入れない。

コートに入った場合**2分間の退場**

- ・ベンチにいる外国籍選手が退場になった場合

→ 全ての退場時間が終了するまで、もう1人の外国籍選手はコートに入れない。

コートに入った場合**2分間の退場**

- ・失格となった場合(3回目の退場も含む)

→ **2分間の退場が付加されるので、上記の退場と同じように扱う**

以上の場合入場が判明された時点から罰則が適用される。いつ入ったかわからない場合が起こっても、判明した時点から罰則の適用になる。違反をした選手が得点をした場合、得点後のスローオフが行われた場合は得点を取り消すことができない。反則の時間の決定はレフェリーが最終決定を行うが、マッチバイザーがアドバイスをすることができる。レフェリーの判定は最終的なものであり、チームは異議申し立てはできない。

- ・追放になった場合

→ 残りの試合時間をコートプレイヤー5名で戦わなければならないため、もう一人の外国籍選手はすぐにコートに入ることができる